

マーケットの動き（2022年1月3日～1月7日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

発表された米国経済指標や12月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）の議事要旨を受けて米国長期金利が上昇し、相対的な割安感が薄れたハイテク株を中心に売り圧力が強まりました。

一方、欧州市場は当面の利上げが視野に入っていないことから安定して推移しました。

投資環境見通し（2022年1月）

外国株式相場は堅調な企業業績に支えられ、緩やかに上昇

米国：株式相場は、新型コロナウイルス「オミクロン型」による景気下振れ懸念や金融政策正常化を巡る警戒感などから不安定な状況にあります。しかし、企業業績については感染拡大やインフレ環境下においても底堅さをみせる個人消費に支えられ、改善基調を維持できるとみています。また、FRB（米国連邦準備制度理事会）は今後の金融政策正常化に向けて、金融市場に十分配慮しながら政策変更を行うと考えられます。株式相場は好調な企業業績が確認されるとともに緩やかに上昇すると予想しています。

欧州：新型コロナウイルスを巡る各国の対応やエネルギー価格の動向から変動率が高まる可能性があります。好調な欧米経済を背景に堅調な企業業績が見込まれることから、底堅く推移するとみています。

	1月7日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,677.03	▲1.87%	▲0.21%	7.32%	22.96%
NYダウ	36,231.66	▲0.29%	1.43%	4.47%	16.72%

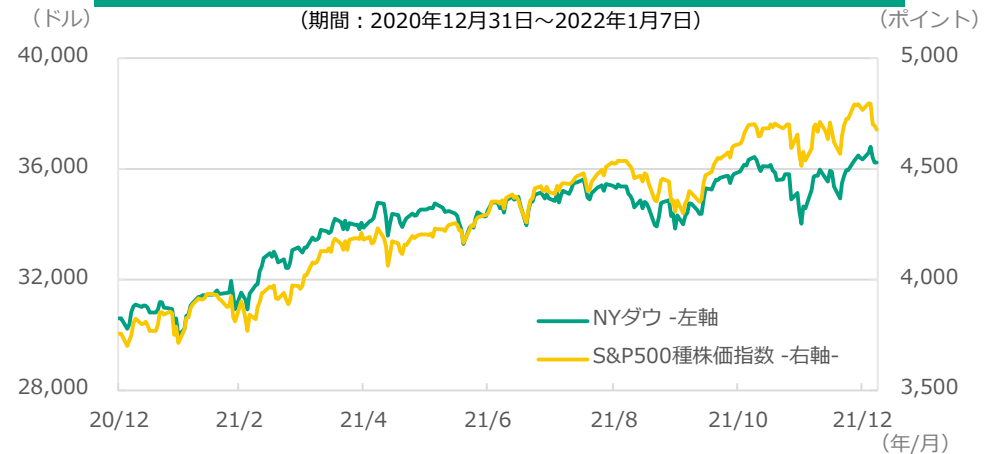
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

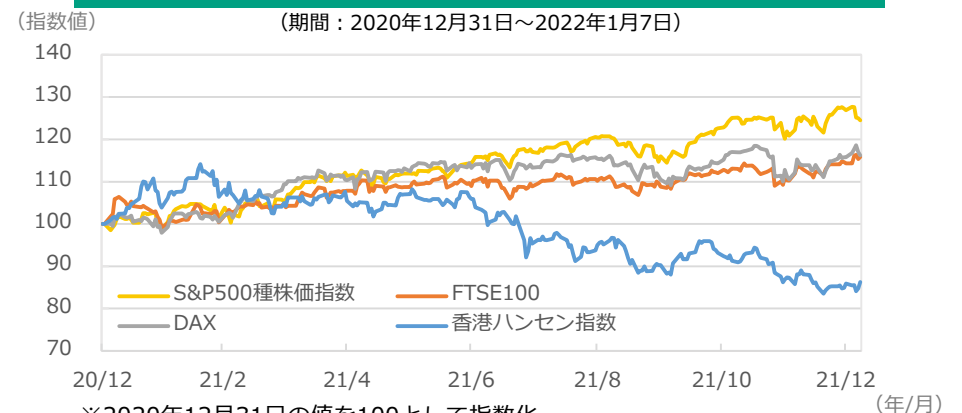
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202201_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2020年12月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成